

特集2

地域を守る消防団

～大切な人、大好きなまちを守るために～

○問合先 消防調整課消防団係 (☎2116)



昨年行われた夏季点検でホシジロ操法を披露する女性消防団員

皆さんは、消防団とその活動を知っていますか。

消防団は、『自分たちの地域は自分たちで守る』という精神に基づき、市民の尊い生命や財産を、火災などの災害から守るため日夜活動しています。

その中から今回は、伊万里分団と牧島分団の統合をはじめ、女性消防団の活動や各分団のホープを紹介します。団員の思いなどを通じて、消防団の活動や必要性について考えます。

さらなる安全・安心をめざして

私は、3年間牧島分団の分団長を務めてきましたが、4月の伊万里分団と牧島分団の統合により、このたび新伊万里分団長を拝命しました。団員数も大幅に増加し、責任の重さを感じています。統合の主な理由は、両分団ともに消防団員の確保が難しくなり、消防団活動に支障をきたすようになってきたこと、また、牧島分団において、管轄が伊万里公民館区と牧島公民館区にまたがっているため、各行政区との調整が困難になってきたことです。今回の分団の統合により、各部においても統合を行い、7部体制となりました。団員数は約110人に増加し、地域防災力の向上につながったと思います。



伊万里分団 分団長
石井 幸久さん (中通)

これからも市民の皆さんの安全・安心のため、さらに消防団活動に力を入れていきます。皆さんの、ご理解とご協力をお願いします。

現在の伊万里市街地は、市消防団が発足した昭和29年当時とは大きく様変わりしています。今回、市街地を管轄する伊万里分団と、隣接する牧島分団を統合し、4月から新しい『伊万里分団』として新たな一歩を踏み出しました。この統合により、市街地における消防力が充実し、災害発生時の出動体制が強化されるなど、地域防災がよりよいものになりました。



新『伊万里分団』が

4月にスタート



【写真③】 応急手当講習



【写真②】 独り暮らし高齢者への防火訪問



【写真①】 園児への防火紙芝居

佐賀県初の『女性ラッパ隊員』が入隊

今年、佐賀県では初めてとなる、市消防団から女性のラッパ隊員が誕生しました。全員が吹奏楽経験者ということもあり、今後の活躍が期待されます。

ラッパ隊は、消防団の規律の維持と団員の士気の高揚を図るため、夏季点検や出初式などの式典で吹奏します。



主に、独り暮らしの高齢者宅を訪問して、住宅用火災警報器の設置や火災予防を呼びかけます。

【写真②】

■高齢者宅への防火訪問

幼年期から防火意識を高めてもらうため、園児を対象に防火教室を開催しています。紙芝居を使ったり、演劇を行ったりと、楽しみながら火事の恐ろしさや、火事を発見したときの対応方法・避難方法を教えます。

【写真①】

■園児に対する防火教室

市消防団には24人の女性の消防団員が在籍し、広報活動や予防指導など、地域の安全を守るためにさまざまな活動を行っています。ここでは女性消防団員の活動などを紹介します。



女性消防団員活躍中

※心肺蘇生体操は、私たち女性消防団員が考案したものです。インターネットで動画を見ることができ、伊万里市消防団編』で検索して、ぜひ見てください。

応急手当指導【写真③】
応急手当法を普及・啓発するため、消防署の救急救命士に同行して、保育園・事業所などで応急手当法の指導や心肺蘇生体操を行っています。また、ほとんどの女性団員が応急手当指導員の資格を取得しています。

■応急手当法指導【写真③】

私たちと一緒に活動しませんか

私たち女性消防団員は、女性のソフト面を生かして、保育園や老人会などに出向き、防火防災教室の開催や、各種消防団イベントのサポート、ケーブルテレビでの広報活動などを行っています。

平成25年、全国女性消防団員活性化ぎふ大会で披露した心肺蘇生体操が全国各地で反響を呼びました。日ごろから熱意をもって取り組んできた成果が認められたものとうれしく思っています。これを市内でもっと多くの人に広めたいと思います。今年は佐賀で全国大会が開催されますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



団本部 女性部長
宮崎 紀子さん（木須東）

現在、女性消防団員を募集しています。安心して暮らせるまちづくりをめざして私たちと一緒に活動しませんか。

毎年、全国各地で行われている、全国女性消防団員活性化大会が、平成27年は佐賀大会として、10月29日（木）・30日（金）に佐賀市文化会館で開催されます。全国から女性消防団員など関係者が集まり、日ごろの消防団活動や取り組みについての発表や、地域を越えた防災に関する情報交換を行います。

『第21回全国女性消防団員活性化大会』が佐賀県で開催されます

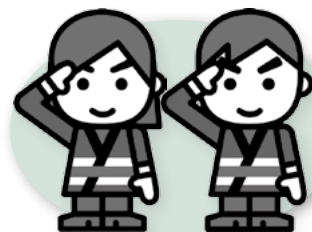


↑全国女性消防団員活性化大会千葉大会に参加しました



伊万里市消防団 各分団のホープ紹介

市消防団は、大切な人や大好きなまちを火災などの災害から守るため日夜頑張っています。現在市内には11の分団があり、997人の団員が災害現場に出動したり、災害の警戒に当たったりして地域の安全・安心のために活躍しています。ここでは、その団員の中から、各分団のホープを紹介します。



団本部

女性部 (団員)
山口 喜美子

(上分)



入団して1年です。昨年、全国女性消防団員活性化大会に初参加し、開催地の人たちの防災意識の高さに驚きました。全国の女性消防団員と情報を交換し、大きな輪を広げていきたいと思っています。私も、地域の役に立つ消防団員でありたいと思います。



↑夏季点検で一糸乱れぬ動きを披露する大川分団



旧牧島分団

第3部 (団員)
金子 裕憲

(早里)



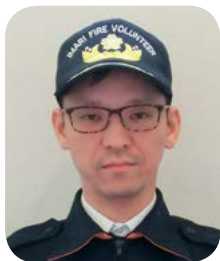
入団して3年目です。消防団活動を通じて消防団が地域に必要とされていることがわかり、団員としての自覚が強くなりました。これからも日々の訓練に参加し、地域のために貢献していきたいです。今後も先輩方と楽しく頑張っていきます。



旧伊万里分団

第1部 (団員)
栗副 亮太

(元町)



入団して2年目です。近所の先輩から誘われて入団しました。訓練など厳しいときもありますが、地域の防災にかかわることにとってもやりがいを感じています。今後も自分たちの町を守るため頑張っていきたいと思っています。



黒川分団

第2部 (団員)
瀬戸 遼太郎

(福田)



地域の人に誘われて消防団に入団し、地域のつながりが一層強くなったように感じています。消防団活動に真剣に取り組み、地域住民のために災害を少しでも減らせるように頑張る住みよい地域づくりを行っていきます。



大川内分団

第4部 (団員)
前田 俊彦

(正力坊)



平成26年4月に入団しました。当初は不安もありましたが、先輩方の優しい指導のもとさまざまな活動をする中で消防団員としての自覚が高まりました。今後も地域住民の安全・安心を守るため、日々の消防団活動に励んでいきたいと思っています。



大坪分団

第6部 (団員)
山崎 和宏

(新天町)



地元の先輩方の強い勧めで入団しました。昨年の夏に行われた市の小隊訓練競技大会には選手として出場し、団員とのチームワークの大切さを学びました。今後は火災予防活動などに力を入れ、地域のために貢献したいと思っています。

大川分団

第5部 (団員)
古藤 康太
(川原)



地域の方に誘われて入団し、訓練などに参加する中で、消防団活動の大切さがわかりました。これからは消防団員として地域に貢献できるように頑張っていきます。

南波多分団

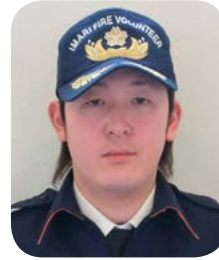
第6部 (団員)
井手 龍一
(谷口)



消防の活動はさまざまに戸惑いもありましたが、諸先輩方のご指導により、今では地域に貢献できることを誇りに感じています。今後は諸先輩方が築き上げた伝統と実績に恥じないように、自己研さんに励み頑張っていきます。

波多津分団

第6部 (団員)
奈良崎 圭則
(筒井)



地域の先輩に誘われて入団しました。入団したばかりですが、少しでも地域に貢献できるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。

東山代分団

第5部 (団員)
加賀良 浩二
(滝川内)



先輩に誘われて入団して3年目です。先輩からの指導を受けて各種訓練へ参加することで、消防団活動について学んでいます。私の住む地域は消防団員のなり手が少ないため、私が消防団員として長く地域に貢献できればと思います。

二里分団

第4部 (団員)
宮川 隼人
(東八谷掬)



地域の先輩に誘われて4月に入団しました。1か月間、小隊訓練を受けて集団行動の難しさや大切さを学びました。やさしい先輩に囲まれて、楽しく消防団の活動をしています。これからも地域のために活動していきます。

松浦分団

第3部 (団員)
百武 勝士
(村分)



入団して3年目です。昨年は松浦分団の代表として小隊訓練競技大会に出場するなど、積極的に消防団活動を行っています。これからも、災害のない松浦町となるように、また、災害が減らせるように消防団員として頑張っていきたいと思っています。

山代分団

第2部 (団員)
丸野 陽司
(鳴石)



平成24年4月に消防団に入団しました。火災予防広報や各種訓練などの消防団活動を通じて、防災のためには地域の絆が重要だと感じました。今後も先輩の指導を仰ぎながら、地域の防災に役立てるように頑張っていきます。

消防団とその活動に

理解と協力を

消防団の主役は、市民の皆さんです。自分たちの地域の安全を守り、安心して暮らすためには、地域や事業所の協力のもと消防団の活動が欠かせません。

あなたの『力』が必要です。安全で安心できるまちをめざして、団員とともに活動しませんか。

